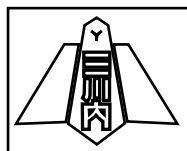


学校だより

あったか三川内



令和3年 12月20日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

【人権標語・感想発表から】part 5

6年生代表者の感想を紹介します。

6年生の感想文は、長文になりましたので、1名ずつ紹介させていただきます。

【6年生】

○山崎 夢愛さん・・・「人権の大切さを知って」



私が人権について学んだことはたくさんあります。特に印象に残っていることは、「人権＝差別やいじめ」ではなく、人権を守るために差別やいじめを許さないということです。私は今まで「人権って何ですか？」って聞かれたら、いじめや差別しか頭に出てきませんでした。ですが、人権とは、自分が思っていたことではありませんでした。人権とは、「誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きていくための権利」で、私たちの日々の生活を支えるとても身近で大切なものだとことを学ぶことができました。また、「男子だからこれできるよね。」や「女子だからこれやって。」などと言って、性別で判断することもダメだということを学びました。

私は以前、人を傷つけてしまったことがあります。それは、友達と喧嘩をしてしまったことです。その時は、相手の意見を聞かず自分の意見ばかり相手に言ってしまいました。今はもう仲直りをし、仲良く過ごすことができますが、あの時自分が言いたいことだけを強い口調で言って、相手の意見を聞こうとしていなかったことで、相手を傷つけてしまったのだと思うと、とっても悪いことをしたなと思い、今も反省しています。今でも喧嘩をしてしまうことがあります。しかし、今は相手の意見もちゃんと聞いて、自分の意見も言って仲直りしようと思えるようになりました。友達を傷つけるようなことはまだまだしてしまうかもしれませんが、気を付けていくことを心がけていきたいです。

私は、今後、相手の人権と自分の人権を守っていくために、差別やいじめをせずに誰とでも仲良くできるような自分になりたいです。そのような自分になれば、友達といることが今以上に楽しくなるし、学校に行くことも楽しくなると思います。そして、今以上に勉強が面白くなると思います。いじめや差別をしないことによって自分にいいことが返ってくると思います。だから、今以上にもっと友達を大切にしていきたいです。

●先週14日から「人権についての標語や感想文」の代表者を紹介してきましたが、

これで最後となります。どの標語や感想もすばらしいものばかりでした。各クラス一人ひとりが書いた人権標語や感想文がありますが、人権週間において学んだ



ことを実際の生活に活かしてほしいと思います。「人が人を差別する」「人が人をいじめる」絶対にしてはならないことです。今年もあとわずかとなりました。相手を思いやり、あったかな優しい心で生活し、幸せな1年だったと振り返ることができるよう、お互いに努力していきたいですね。